

平成二十六年 度

第二回

地区別懇談会

Q & A

十一月十七日(月)から十九日(水)にかけて、全十二地区で地区別懇談会を開催させていただきました。各懇談会には、常勤役員および各室・部長が二班に分かれて出席し、平成二十六年年度の仮決算事業報告を行なった後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。

◆金融部門

Q イオングループとのATMに係る業務提携を考えて欲しい。

(豊平地区)

A 当組合単独での判断では出来ない事から、引き続き皆さまのご意見を上部団体へ要望として伝えていきます。

Q 損益計算書にある信用雑費の内容について説明願いたい。

(篠路地区)

A 信用事業にかかる経常的費用のうち、事務用品の購入費や機器のリース料、保守料、オンライン事務手数料等であります。

◆経済部門

Q 種イモを注文したのですが、希望するサイズがなく困ったので取りまとめの時期を早めていただき希望に沿う数量を確保していただきたい。

(新琴似地区)

A 今年については、申込時期の問題ではなく種イモ自体の品不足が原因とホクレンから報告を受けております。更には、天候等によりご希望にそえることが出来ない場合もあることをご理解願いたいと思います。但し、申込時期が適切か否かについては検討をしております。

Q 出荷用段ボール箱について、Aが代表でホクレンと価格交渉

をして少しでも経費を抑えることは出来ませんか。

(豊平地区)

A 改善していくには、ある程度まとまった単位でないと価格交渉が難しくなりますが、組合員の方の利用率を向上させるための努力を惜しみなく実施し、組合員とJAが一体となつて取り組んでいかなければならないと思っております。

Q 農業に詳しい職員を育成して、生産者とのつながりを強化して欲しい。

(豊平地区)

A 組合員の方から信頼を得られる様に専門的な知識の習得を心がけ、更には組合員の方からご指導をいただきながら、組合として取り組まなければならぬ部分は優先順位をつけて進めてまいりたいと思っております。

Q 経済センター店舗は、収穫期(九月・十月)の日曜日に営業をすることは出来ませんか。

(豊平地区)

A 日曜日の営業については、人件費等かかるコストを補つていく様に努力をしなければならぬと思っております。また、その様な体制にして行くためには、組合員の方にも出荷率をあげていただく等、全体の利用率を改善する必要があると考えておりますので、ご理解をお願いします。

Q JAさつほろでも土壌改良の取り組みについて、知識習得や指導が出来る様に期待します。

(豊平地区)



南地区

A 農業改良普及センターと共同で行なっておりますが、まだ不足していると認識しております。行政の支援が少ない中での取り組みではありますが、限られた中でより良い取り組みを考えてまいります。

Q 購買の売上げが落ち込んでいますが、原因を説明願いたい。

(厚別地区)

A 購買品供給高につきましては、九月末計画対比八四・八%となつております。肥料・農薬・温床資材・包装資材の消費税率改定の駆け込み需要の影響により、計画を大きく下回る結果となっております。

Q 札幌伝統野菜並びに札幌黄(玉ねぎ)を今後どの様にしていくのか聞かせて欲しい。

(厚別地区)

A 今年は、豊平地区において「札幌大球」をはじめ五品目について試験栽培を実施致しました。一部マスコミ等に取り上げられ一定のPR効果があり、来年からは「札幌伝統野菜」を生産していただける方を全地区に募り、拡大して行きたいと考えております。又、「札幌黄」は種の供給量を確保するべく、当組合の農業経営事業並びに札幌市の農業支援センターと連携をして採種量の確保を図っております。

Q 「しろとれたて」が生産者直売所の年間使用料はいくらですか。
(篠路地区)

A 年間二十五万円であります。

Q JAさっぽろは玉ねぎの短期販売をどうして積極的に行なわないのですか。
(北札幌地区)

A 当組合としては、長期的に安定した方法を重視した上で、組合員から受け入れた玉ねぎについては共計を基本としており、販売先についても大半が市場あるいはホクレンとなっております。一部短期販売の取扱いがあります。単価の動きが大きくリスクがあることも事実で、その部分を回避するにはある程度の量を確保する必要があります。ご理解願いたいと思います。今後、今回のご意見を踏まえまして検討してまいります。

Q 畑の暗渠排水整備の施工時期は、内容を精査して決めて欲しい。又、施工監理についても細部まで行って欲しい。
(北札幌地区)

A 暗渠工事の施工時期については、法人 北海道農業公社とJAが組合員の意向を確認し、圃場状態、天候状況、機械器具や各種部材の調達と発注の時期、工法の難易度、工期等を考慮して決めました。施工監理については、測量・設計作業と同様、北海道土地改良事業団体連合会(愛称・水士里ネット北海道)に業務を委託し、設計図書に基づいて施工状況の確認、工程会議の開催等監督管理として完了検査を受けております。

Q 他JAにおいて、農業収入の申告漏れが新聞報道されたが、JAさっぽろについては、その様なことがない様に組合員へ適切な指導をしていただきたい。
(豊平地区)

A 今回の指摘は直売所の収入に係る部分でありましたが、確定申告時には細かな部分に留意して見落としがない様に指導をしております。

Q 今日、後継者問題や人手不足が深刻な問題となっておりますが、どの様に対策を考えておりますか。
(豊平地区)

A 大きな問題だと認識をしておりますが、最近では若い方の後継者や定年後に戻って農業を継ぐ方も出て来ております。ただし、新規就農者が増

えない悩みは否めませんし、JAが支援体制の確立を考えるなどをしていかなければならないと思っております。

Q 緑肥栽培試験にある「ソルゴー」の意味を説明して欲しい。
(新琴似地区)

A 緑肥品種の一種です。イネ科の植物で将来的には肥料にしますが、圃場の周りに植え付けることによって害虫の侵入を抑制する働きがあります。

Q 土壌改良効果等の課題について検証を行なうとあるが、具体的な内容を説明願いたい。
(新琴似地区)

A 土壌が柔らかくなったり、根が入りやすくなるなどの効果について現在検証をしております。良い結果が出れば組合員の皆さまへお勧めしたいと考えております。

◆相談部門

Q アパート等の管理物件について、将来的に建物の老朽化により空室率が上昇することが予測されますが、入居率向上へ向けた対策を聞かせていただきたい。
(豊平地区)

A 空室率の上昇は大変な問題でありますので、入居者の希望を逐次把握して情報収集に力を注ぎ、その内容を所有する組合員の方へ伝達し、お客様に選んでいただける物件を作ってまいります。

◆経営企画部門

Q 「CS改善プログラム」のCSの言葉の意味並びに具体的な活動内容について、説明をしていただきたい。
(厚別・新琴似・手稲地区)

A CSは、一般的には顧客満足のことですが、当組合では組合員満足と解釈しています。組合員の皆さまが「より来店しやすく、また、より気持ち良くご利用いただく」ための改善を職員自身が考えて実践する活動です。職場内の気づき等を職員間で共有し、どの様にすれば組合員の皆さまに喜んでいただけるかを考えて実践する活動であり、接客態度の向上等も含めた総合的な職場改善活動となっております。



白石地区

Q 経済事業についても、「CS改善プログラム」を導入して利用者に對して適切な対応ができる様、職員レベルアップを図って欲しい。

(篠路地区)

A 「CS改善プログラム」は、金融・共済事業に係る職員向けにJAバンクと共同で導入したプログラムであります。現在は定着に向けフォローアップ研修等を実施している段階であり、今後、導入効果や改善すべき点、適用可能範囲等を整理したうえで、経済部門などへの適用拡大を検討してまいります。

Q 「CS改善プログラム」の開始がなぜ今なのか。また、この活動が職員にとつてどのような影響がありますか。

(手稲地区)

A これまでも各々取り組みを行なっていたところですが、組織として統一的な向上を目指し、この度「CS改善プログラム」を導入いたしました。職員はこの活動を通じて、自らの気づきと職員間での情報共有の重要性などを理解して、接客態度の向上等が期待できます。

Q 「CSサポーター」を任命してありますが、どの様な位置づけの職員ですか。

(豊平地区)

A 「CSサポーター」は「CS改善プログラム」の導入にあたり、導入から定着までの一連の活動を補助・指導することを目的に任命しています。担当者はコンサルタントによる専門の研

修を受講した上で、職務に従事しております。

Q JAさっぽろ女性大学の受講生へ女性部の加入を働きかけて欲しい。

(白石地区)

A JAさっぽろ女性大学「カレッジ」は、『農と食を軸に、健康文化、福祉等の学習を通じて、より一層の生活充実を目指し、共に地域で活動しあえる仲間を増やす』機会を提供することで、結果的に当組合や女性組織の応援団となるきっかけとすることを目的としています。受講生の中には既に女性部に加入している方もいらっしゃいますし、広報誌等のツールを通して女性部の活動を理解し興味を持っていただくような対策を検討しております。受講者には女性部からお声掛けをいただければと思っております。

◆総務部門

Q 地区別懇談会資料全般について、一般的に使用されない横文字は、注釈や但し書きを入れるなど今後は配慮して欲しい。(手稲・新琴似地区)

(手稲地区)

Q 電気料金の再値上げに係る、JAさっぽろとしての具体的な対応策を説明して欲しい。

(豊平地区・厚別地区)

A 全国的に展開している事業協同組合との電力供給契約を想定しております。当組合では現在高圧電力の契約をしている四事業所の部分で割引の対象となることから、新電力の契約を前提に協議を進めているところであります。

Q 正組合員と准組合員の資格の違いについて説明をして欲しい。

(西町地区)

A 主な違いは、正組合員には共益権として議決権等があります。准組合員にはありません。だからと言って、准組合員から意見を聞かないということではありません。

Q 事業外費用の中の支払利息とは、どの様な費用ですか。

(琴似地区)

A 福利厚生として定められている職員貯金の支払利息であります。中央会が定める「JA標準勘定科目処理基準」に基づき、事業外費用として処理しております。

Q 当組合の経営状況(投下資本に対する収益性)について説明願いたい。

(琴似地区)

A 今年度半期での事業利益でみると、計画数値を千二百万円上回っており順調に推移しておりますが、自己資本に対する収益率でみると、半期ということもあり決して良い数値とはいえません。ご存知のとおり協同組合ですので、それぞれの事業が補完しあうこと



琴似地区

でJAの事業が成り立つており、更なる費用の圧縮を図りながら収益性を高めていくよう努めております。組合員の皆さまにも今まで以上にJAをご利用いただくことをお願い申し上げます。

Q 出資証券をペーパーレスにしたことによる効果について教えてください。

(手稲地区)

A 各種の手続きの際に証券を提出していただく必要がありませんので、スムーズに進めることが出来ております。

Q 札幌協同振興(株)の事業内容等について説明願いたい。(手稲地区)

(手稲地区)

A 共栄火災代理店業務、各本支店のメール便業務、その他各支店や部会などでの物品購入業務並びに事務所で使用する備品のリース業務を行なっております。更には、JA本体では

出来ない業務を請け負っており、今後の農協改革の中で子会社業務についても拡大して行く可能性がありますので、重要な部分を担っていると思っております。

Q 北海道中央会による監査を適切に受けておりますか。
(手稲地区)

A JA全国監査機構に基づき、期中・期末監査を定期的に受けております。

農業・農協改革プラン関連

Q JAグループ北海道改革プラン指針の中に、「農家所得の向上を目指す」とありますが、JAさつぽろとしての考え方を聞かせて欲しい。
(豊平地区)

A 都市型JAとして消費地に近いという強みを活かし、相対取引等販売面の強化を図ること、更には、札幌伝統野菜の生産販売を通じてさつぽろ農業のアピールを行ないながら有利販売へつなげていくこと、資材や肥料などの価格交渉を進めていかに生産コストを抑えていくかが重要だと考えおります。

Q JAグループ北海道改革プラン指針の「組合員のあり方」の中で一定のルールという項目がありますがどのようなことですか。
(豊平地区)

A 准組合員にJAの利用制限を設けるという点であります。当組合は、准組合員数が正組合員数を上回っており、人数だけで制限を設けられ

ると業務運営上厳しくなります。しかしながら、准組合員の現状は元正組合員や正組合員の家族等も含まれており、取引量も多いことから当組合としては規制改革案には反対をしております。

Q JAグループ北海道改革プラン指針の中で、「理事会」の見直しとあるがどの様なことですか。
(厚別地区)

A 理事の過半数は農業者とし、組合員の選択により組合員以外の理事を登用すること、引き続き女性の経営参画に取り組んでいくということになります。

Q JAグループ北海道改革プランにかかわる地区別説明会は農繁期で出席できなかったため、今後は収穫時期には開催しない等考慮して欲しい。
(篠路地区)



豊平地区

A 今回の説明会日程は、平成二十七年一月の通常国会に政府

が農協法の改正案を提出する前にJAグループ北海道としての組織討議を通してのプラン設定を行なうことに伴う各JAでの開催となりました。どうかご理解を願いたいと思います。

Q 各地区における農協改革プランへの対応はどの様にしていけばよろしいのか説明をして欲しい。
(篠路地区)

A 政府から提案されている農協改革プランは北海道として異義がありませんので、当然上申してまいります。札幌の農業を守るために農地中間管理機構を通じて農地を守ることが基本に進めたいと思っております。いずれにしても農地を守り継承していく部分はぶれてはいけないと思っております。

※1 農地の有効利用や耕作放棄地の発生を防止し、担い手への農地集積・集約化を図るため、農地所有者と農業経営者の間に立ち、農地の中間的受け皿となる組織。

Q 改革プランの指針に是非、札幌産の野菜・果物を守って行くことを積極的に表示する具体的な行動項目をいれて欲しい。
(豊平地区)

A 具体策については、JAだけではなく組合員のみならずと一体になり、汗をかき、知恵を出していかなければならぬ問題だと思っております。

Q 農業・農協規制改革にかかわり政府とのずれがある要因はなんですか。
(厚別地区)

A 焦点となっているのが、中央会制度の廃止であります。その中でも特に監査機能の見解についてずれがあり、政府は会計監査を監査法人に任せ形へ移行すると言っておりますが、中央会の監査機能は、農協組織の健全経営を監視する機能を有しており、農協は中央会制度を維持するとして進めております。

◆人事部門

Q 顧客満足度(CS)の向上を目指すし、中核となる女性職員の教育を掲げているがどのような教育ですか。
(新琴似地区)

A 中核となる女性職員を本店・統括支店単位で選抜し、「JAさつぽろの統一マナーの確立」という課題を通じて当該職員の育成を図る体験型研修であります。

Q 幹部候補職員に対する試験制度等がありますか。
(豊平地区)

A 一般職から管理職への等級(段階)を定めており、上位等級に昇格するためには、農協職員資格認定試験や昇格資格認定試験の合格等を条件とした昇格基準があります。

※プライバシーに関する質問や、過去同様の質問につきましては割愛させていただきますのでご了承下さい。



希

テイネオリンピックスキー学校
池田利碩



雪の季節に

手稲市街を抜け、狭い山道を登り続ける。真っ白な雪の世界が広がる。標高一〇〇〇mを超える山頂から見渡す、札幌市街と石狩湾。この時期、最良のパウダースノーを求めて集う多くのスキーヤーやボードerたちを魅了する手稲山に、池田利碩さんは四十年間通っている。

「今日は予定が変わっちゃってさ。急遽、修学旅行生を教えることになったんだよ」

テイネオリンピックスキー学校の講師として、シーズン中は連日、スキーやスノーボードの指導に当たるといふ池田さん。主に、シーズンを通してレッスンをこなす会員生や、修学旅行で北海道を訪れる高校生に教えることが多いそう。指導員不足から当初の予

この地で見つけた
生きがいを大切に、
希望を持って生きていきたい。



組合員紹介



▲レッスン開始前には、準備運動も兼ねて一滑り。「あまり楽しみすぎると、その後が辛いからほどほどにね(笑)」。

定が変更になることも少なくないという。
「だいたい十人で一班を受け持つのだけれど、なかには高所恐怖症の子やレッスンについていくことの出来ない子もいるでしょう。そんな時はもう一班を作って、一緒に山を散策してみたり、歩いて降りてくることもあるんだよ」
指導期間が二日間に限られる修学旅行の場合、基本的には最終日に山頂から滑ってこられるようにしてあげるそうだが、それ以上に、楽しませてあげることが最優先。
「帰り際には「また来るからね！」と言ってくる子がほとんどだけれど、実際に来た子はいたかな?」(笑)
子どもたちからは感謝の言葉を綴った手紙が届くこともある。大切な青春の一ページに、手稲山での思い出が刻まれる事が、何より嬉しいと話す。

リフト係から、講師へ

生まれも育ちも、手稲山口地区である池田さん。夏場は砂地を利用してハウスメロンを栽培するメロン農家でもある。
「十年前に病氣してからは、すっかり減らしちゃってー。今は自家用程度だけれどね」
三代目として二十五歳の頃に就農。

現在は、メロンをはじめサツポロスイカや大浜みやこかぼちやの産地として一大ブランドとなった同地区で、父である民利さんと奥様の喜久子さん、そして地元の間間達と共に山口ブランドを守り続けてきた。
「オリンピックが出来たのも、ちょうどその頃だね。手稲町役場から、スキーを教えにきてくれないか」と、この辺りの農家にも声がかかったみたいだよ」

もともとスキーは得意ではなかったため、リフト係としてアルバイトをすることに。なったそうだが、当時は寒いのが嫌で小屋にこもりっぱなしなうえ、山頂から降りてくる際もリフトを使って下りていたほどだと笑う。
「一九七二年のオリンピックの時もゲレンデに常駐していたんだけど、実際に選手のすべりを目の当たりにして、すっかり火がついちゃったんだよね(笑)。本格的にスキーをやりたいと思うようになったのは、それからだよ」

札幌オリンピックの際、旧テイネハイランドスキー場だったハイランドゾーンはスキーアルペン競技の男女大

回転や男女回転の技術系四種目の会場として、また聖火台が設置された旧テイネオリンピックのオリンピックゾーンは、ボブスレーやリュージュといったソリ系五種目の会場として利用された。
スキーの魅力にすっかり虜になった池田さんは、その後、持ち前のセンスと日々の努力で腕を上げ、メーカーのチームに所属し選手として活躍。一線から退いた後も北海道強化選手のコーチ等を務め、国内外を飛び回った後、「思い入れのある地で、多くの人にスキーの面白さを伝えたい」という思いから地元で講師となった。

「思い入れのある地で、多くの人にスキーの面白さを伝えたい」という思いから地元で講師となった。



地域を守る

池田さんが、スキーと同様に長年続けてきたのが消防団の活動で、現在は手稲消防団の副団長を務めている。
「昔はさ、後継ぎが消防団も引き継ぐという流れが出来ていたから自然に入団したけれど、やっぱり、自分たちの地域は自分たちで守る」という思いは大切にしているよ」

普段から定期的な訓練を行なっており、出勤要請があった際にはすぐに駆けつけられるようにと自宅の玄関には作業着や防寒着、ヘルメットを常備している。
また、手稲消防団では手稲山における登山者や山菜取りによる行方不明者の増加を受けて、平成十九年に全国で初めて「山岳救助隊」を発足し、池田さんもその一員。同隊は北海道科学大学の協力により、山岳部員が消防団員として入団している大学生を中心とした隊で、学生たちは授業や部活動の間を縫って、消防団員としての基礎的な研修や規律訓練、山岳救助に必要なロープワークなどの基本訓練を積み重ねているという。

「スキー場でも、誰も滑っていない新雪の所を滑りたがる人は、コースから外れてしまうことが多い。いつも、何も起きなければいいなって思いながら見ているんだよ」
以前、手稲山でも本州からの旅行者が遭難してしまい、一晩中捜索した経験があるそう。ゲレンデではそういった事故や雪崩が起きないかどうか、常に気を張るように心掛けているという。

消防団員として地域を守りながら、そして、スキー講師として地域の魅力を発信しながら、これからも身体が元気な限り活動を続けていきたいと笑顔をみせる。

お忙しいところ、取材にご協力下さいました池田さん、ありがとうございました。
(二〇二五・一・十三 取材)



第17回 組合員親睦温泉湯治開催!

J A さっぽろ主催の組合員親睦温泉湯治。
 今年は、1月14日(水)から3泊4日の日程で、添乗役職員を含め189名の参加者が
 登別温泉ホテルまほろばに宿泊しました。



本年も、男性37名・女性121名
 総勢158名の皆様のご参加、
 誠にありがとうございます!



乾杯



今年度の団長は西町地区の川中只一さん、副団長は北札幌地区の長谷川久恵さんに務めていただきました。



齊藤京子ものまねショー

小林幸子、美空ひばり、大月みやこ、天童よしみ、坂本冬美など、多彩なものまねの数々に会場が笑顔に包まれました。



早着替えて「冬のソナタ」のヨン様に大変身した、札幌地区の後藤 満さん！



大ビンゴ大会

ビンゴになってもならなくても、豪華景品が当たる大ビンゴ大会！



◀「これ、全然あかないわあ〜」。お隣同士でカードを照らし合わせあいながら。

大演芸大会

組合員の皆さまが主役の大演芸大会！芸達者な26組29名の皆さんが、歌や踊りを披露されました。



▲トップバッターを務めた、白石地区の後藤松義さん。



▲手稲地区の久木友江さんは、91歳とは思えない歌声で会場を沸かせました！



最終夜の大宴会

最終夜は、彩川さくら演歌ショーに、お楽しみ抽選会！彩川さんの迫力ある歌声と可愛い衣装に会場も大盛り上がりとなり、抽選会では地区名が読み上げられる度に大きな拍手と歓声が上がりました。





1月19日(月)
第1期「協同組合講座」

次代の地域・農業を担う リーダー育成を目的に 第1期「協同組合講座」開講

JAさっぽろ「協同組合講座」の第1期開講式と第1回講座が17名の受講生(当日出席15名)を迎え、本店大会議室にて開催されました。

協同組合講座は「組合員次世代対策」の一環で、若い世代の組合員を対象としています。協同組合の理解を深め、幅広い視野に立った地域農業を担うリーダー育成が目的で、開講式では軽い緊張感が漂うなか受講生による自己紹介などが行なわれました。

第1回講座では、JA北海道中央会札幌支所の我満職員を講師に迎え、「協同組合活動とは何か」についての講義を受けました。事前に、緊張をほぐすために行なわれた「受講生同士の共通点探し」によって会場の雰囲気も和み、皆さんにも概ね好評な講座となりました。



▲1対1で会話をしながら、お互いの共通点を探しました。



12月5日(金)
JAさっぽろ青年部

優勝奪回！厚別支部がV

JAさっぽろ青年部(宮崎勝吉部長)では、部員・事務局61名が参加し、ディノスノルベサポウルにおいて支部対抗親睦ボウリング大会を開催致しました。2ゲームの合計により競った結果、団体戦では前回6連覇を逃した厚別支部が1年ぶりに優勝に振り返り、個人戦においては琴似支部の萩中昭夫さんが栄冠を勝ち取りました。終了後は、表彰式および忘年会を開催し、部員同士の親睦を更に深めました。



▲優勝した厚別地区

団体の部

優勝：厚別支部
準優勝：白石支部
第三位：北札幌支部

個人の部(敬称略)

優勝：萩中 昭夫(琴似支部)
準優勝：殿山 哲也(厚別支部)
第三位：小林 智行(厚別支部)





1月13日(火)

女性部厚別支部竹葉会

吊るしても置いてもOK! プリザーブドフラワー 籠アレンジの製作

女性部厚別支部竹葉会(小林祐美代表)では、7名の会員が参加し、工芸講習会を行ないました。アレンジメントの製作中は、互いの手元を見比べながら、そして楽しくおしゃべりしながら完成を目指しました。

同じ素材を使用しても、選ぶ色や刺す位置によって仕上がりは様々。個性豊かな作品を仕上げた後は、新年会にて更なる親睦を深めました。
(吉村特派員)



▲製作時間は、色選びも含めて約2時間半。昨年同様、アトリエYの滝口先生(前列中央)にご指導いただきました。



11月16日(日)~2泊3日

資産管理部会北札幌支部

あべのハルカスと京都を巡る3日間

資産管理部会北札幌支部(長内慶一郎支部長)では、部会員13名の参加により、京都・大阪方面への視察研修旅行を実施致しました。

初日の清水寺に始まり、法然院、嵐山、金閣寺、京都御所と紅葉の名所を巡り歩き、特に歴史的建造物である京都御所は、初めて参観された方が多く、非常に貴重な体験となりました。最終日は、日本一高い高層ビル「あべのハルカス」から大阪の街を一望し、たくさんの思い出と両手いっぱいのお土産とともに無事帰路に着きました。
(渡邊特派員)



▲初夏開催が恒例でしたが、「京都の素晴らしい紅葉が見たい!」とのリクエストにより今年は秋旅行となりました。



11月25日(火)~4泊6日

厚別支店

大満喫! ドバイ・アブダビへ6日間の旅

厚別支店では、組合員6名の参加で親睦旅行を実施し、少人数ではありましたがアットホームな雰囲気です。「ドバイ・アブダビの旅」を6日間堪能致しました。

ドバイでは、世界一の高層ビル「バージュ・カリファ」に登り、世界最大の噴水ショー見学や、ショッピングではこれまた世界最大級のドバイモールで買い物を楽しみました。思い出に残ったのは、砂漠サファリツアー。砂漠の上をランクルで走る、迫力満点のドライブを満喫し、その後はバーベキューディナーとベリーダンスを楽しみました。

(岡崎特派員)



▲とにかく「世界一」が大好きなドバイ。最終日は地下鉄にも乗車し、良い思い出となりました。

虹のひろば

JAさっぽろの様々な部会活動の様子をご紹介します



女性部 豊平支部

支部長：中向 道子 副支部長：皆木 静江

伝統を受け継ぎながら、更なる親睦を深めていきたい



昭和 28 年、旧豊平東部農協にて発足した当支部は、発足当時は 216 名の部員が在籍し、昭和 33 年には 473 名にまで部員数が増えましたが、現在は 49 名で活動を行なっています。



▲昨年の女性の集いは、有明班が見事な踊りを披露しました!

部会活動は、春の役員会と総会で決定しており、昨年は利尻・礼文島への研修旅行も実施しました。

女性の集いでは、毎年各地区で編成されている班が輪番制で演芸発表を行っており、一年間様々な行事を通して部員同士の親睦を図りながら仲良く活動しております。

(尾張事務局)



旧貸家を近代的なメゾネットアパートに建替え



◆施主 池田 康子 氏（発寒支店組合員）

旧貸家の取り壊し

今回で紹介する新築物件の敷地には、築50年が経過し老朽化の進んだ貸家3棟が建っておりました。長年の居住者も居られた事から大規模改修も検討されたそうですが、改修費用の見積もりは建て直す程にもなり取り壊しを決断したそうです。そこで、JAさっぽろ不動産プラザ琴似店の協力もあり安全を考えた苦渋の選択である事を入居者に十分理解頂き退去等速やかな対応を行ないました。

JA資産管理事業「施主代行」方式

建物の取り壊し段階では、今後の利用方法を特に考えていなかったそうですが、JAからの積極的な提案もあり今回の資産管理事業となりました。

施主の長男である康幸氏が中心となり事業を取り進める事となりましたが、業者任せとしないJAとホクレンの対応や工程会議などにより細かな説明があった事など“建築についての専門的知識を十分補ってもらえたので安心して任せる事ができました”と「施主代行方式」には大変満足のご様子でした。

出来栄えと満足

JR発寒駅まで徒歩数分であり数年前にオープンしたイオン札幌発寒店向かいの大変恵まれた環境にある今回の新築物件は、南側に4戸入り1棟、北側に2戸入り1棟のメゾネット型住宅（いずれも3LDK）の建築となりました。なお、近年の電力事情を考え省エネ型給湯暖房機「エコジョーズ」を採用した以外は概ね提案どおりとなったそうですが、北側建物の居間を2階と提案された時には若干の不安があったそうです。しかし、完成した居間に入り採光の確保により家族が集う明るい空間に仕上がっている事を実感し“なるほど”と大変満足した建物に仕上がったそうです。

——JAさっぽろの賃貸管理業務を行なう全ての店舗については、愛称である「不動産プラザ店」を積極的に使用しております。今後とも変わらぬご愛顧の程よろしくごお願い申し上げます——

平成26年度 札幌市優良農業者等表彰
漆崎 智さんが受賞しました

札幌市の農業振興に貢献した農業者等に贈られる「札幌市優良農業者等表彰」の表彰式が、1月20日(火)に札幌市役所にて行なわれ、西区小別沢の漆崎 智さんが表彰されました。

漆崎さんは28棟のハウスで小松菜を中心に生産しており、現在は長男である学さんと共に親子で営農されています。道内でもトップを誇る札幌の小松菜の代表的生産者として、栽培技術の向上等積極的な取組みを行なう傍ら、農協部会の役員や札幌市の農業委員を長年務める等、地域のリーダー的存在として札幌の農業を支えてきた功績が評価され、今回の受賞に至りました。受賞された漆崎さん、本当におめでとうございます。



伝

言

板

「虹の大樹」おかげさまで200号！ 皆さまのご協力とご愛読に感謝

平成10年に市内5JAが合併して誕生した札幌市農協の広報誌として、平成10年7月に創刊以来、毎月発行を続けてきた「虹の大樹」。おかげさまで本誌をもって200号目の発行となりました。

取材依頼を快く受けていただいた皆さまや、いつもご愛読いただいている皆さま、たくさんの方のご指導とご協力をいただきながら「虹の大樹」は今日の200号を迎えることができました。本当にありがとうございます。

今後も組合員をはじめ地域の皆さまとJAを結ぶ懸け橋となります様、たくさん笑顔と情報の発信に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

——「虹の大樹」の名は、“協同組合活動を象徴する虹とそれに培われて大都市にそびえる大樹（JA）”をイメージして、応募総数68作品の中から決定されました。創刊以来、より良い広報誌を目指して都度改善を図りながら、現在のスタイルへと変化しています——。



伝言板

理事会だより

◆第九回定例理事会

平成二十六年十二月二十六日（金）、午後二時より本店役員会議室において第九回定例理事会が開催された。

●協議事項

一、平成二十六年年度仮決算監事監査回答書について

平成二十六年度十二月五日から同十二日までに実施された平成二十六年定期監査（仮決算）での「課題・改善を要する事項」に対する回答（案）が説明され、可決決定。

二、平成二十七年理事・監事報酬の役員報酬審議会への諮問について

平成二十七年七月から翌年六月までの理事報酬総額および監事報酬総額は、平成二十六年度に役員報酬審議会より答申された金額と同額で諮問する事が説明され、可決決定。

三、固定資産の処分について

当組合の所有する、札幌市東区北二十四条東二十二丁目七番四、七番三、七番二の土地の売却を平成二十七年六月三十日開催の第十七回通常総代会に諮る為の協議である事が説明された。また、売却後の余剰利益については、自己資本比率を

改善していく体制を整える為に資本に組み入れる旨の趣旨についての補足説明がされた。引き続き、当該固定資産の概要等全般についての詳細が説明され、可決決定。

四、農水産業協同組合貯金保険機構立入検査結果並びに回答書について

平成二十六年六月四日から六日の間に実施された検査概要および結果、並びに回答書（案）による当組合の貯金者データに係る整備作業概要が説明され、可決決定。

五、延滞債権の処理方針について
篠路支店扱いの延滞債権件について、取組経過・延滞要因・保全状況・回収方策等が詳細に説明され、可決決定。

六、役員視察研修日程の変更について

当初平成二十七年四月十三日（月）から十五日（水）の実施予定から四月十六日（木）から十八日（土）へ変更する旨の提案である事が説明され、可決決定。

●報告事項

一、内部監査結果報告

二、平成二十六年九学期半期ディスクロージャー誌について

三、肥料・農薬の大口取引先奨励について

四、十月末財務状況報告

五、十月末組合員加入・脱退状況

六、十二月の動静と二月の予定について

（閉会・午後三時五十二分）

JAさっぽろDATA

（平成26年12月末業務実績） （平成26年11月末業務実績）

組合員数	正組合員	4,083名	正組合員	4,076名
	准組合員	24,881名	准組合員	24,602名
	合計	28,964名	合計	28,678名
出資金残高	48億9千4百万円		48億6千4百万円	
販売取扱高	16億4千5百万円		14億9千3百万円	
購買供給高	9億5千9百万円		8億2千4百万円	
貯金残高	2,706億2千5百万円		2,633億3千9百万円	
融資残高	896億6百万円		903億1千万円	
共済保有高	6,061億9千9百万円		6,076億2千3百万円	
施設建設取扱高	7億8千3百万円		6億7千4百万円	
管理受託戸数	4,137戸		4,137戸	

※出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

おくやみ

下記の正組合員の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

支店名	氏名	享年	月日
南	大橋サトさん	97才	12 / 17
	山田ヨシエさん	99才	1 / 3
平岸	山田策男さん	71才	11 / 16
	加須屋俊行さん	75才	12 / 9
西町	山内一恵さん	83才	1 / 12
	谷家政義さん	100才	12 / 25
発寒	太田常雄さん	89才	1 / 1
厚別	井土朝雄さん	95才	12 / 14
北札幌	関山 博さん	67才	1 / 5
新琴似	佐藤シゲ子さん	86才	12 / 15
	山崎敏夫さん	88才	1 / 2

さとらんど

パンづくり講座

〈チョコパンとフォカッチャ作り〉

日時:3月10日(火) 10:30-12:30

場所:さとらんどセンター

定員:16名 参加費:1,300円

※2月21日(土)以降に、さとらんどセンターへお電話または直接お申し込み下さい。

市民農園利用者募集中!

国内の畑を、1区画(50㎡) 11,000円で貸し出します。

期間 4/29(水・祝)~11/3(火・祝) 《6:00~19:00》

対象 市内に居住する世帯またはグループ196組

※2月12日(木)からさとらんどセンター、区役所などで配布する募集案内をご覧の上、往復はがきを3月15日(日)(必着)までに送付下さい。抽選によって決定致します。

2015

虹の大樹 NO.200

虹の大樹 ● 2月号
平成27年2月10日 ● FEBRUARY 2015
編集・発行 / 札幌市農業協同組合
〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目1番10号 TEL011-621-1311
ホームページ http://www.ja-sapporo.or.jp/ Eメール kouhou@ja-sapporo.or.jp



あなたの自慢 教えてください



豊平地区
竹田 武 さんの自慢
最新の電動サイクル



車庫の中には、自らカスタマイズした自転車がいっぱい。その中に、今年の夏から加わった最新の赤い自転車は、パナソニック製の最新カスタム電動サイクル。オーダー式で好みに合わせてパーツを組み合わせた自転車です。タイヤは夏仕様だからしばしお休みだけど、足への負担も少ないし、駐車場にも困らない、今の最高の相棒です。今から雪解けが待ち遠しい！

◆みなさまの自慢を教えてください◆

小さいお子さんやお孫さん、新婚さん、ペット、料理、新たに家業を継いだ方、家宝など、自慢のものを大募集！
お近くの各支店または本店 広報課まで、お気軽にお声かけ下さい。

裏表紙のタイトルは、ぎゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている「ジマンダイセン」をアレンジしたタイトルです。